

諏訪湖クラブニュース

NO. 38 2024年1月

もくじ

- 所感 沖野外輝夫
- 諏訪湖周辺で進められている事業の紹介です
- 八ヶ岳周辺から始まったジョウビタキの繁殖 林正敏
- 旧宮川河川敷を利用した田辺堰 理事 八幡義雄
- これから家庭で取り入れていただきたいエネルギー
理事 長崎功
- 半世紀ぶりの諏訪の印象 伴野豊
- 会員の近況コーナーです
- 理事会報告



令和6年 年頭の所感

会長 沖野 外輝夫

令和6年の年明けおめでとうございます。昨年来世界各地で起こっている紛争が、今年こそは早々に納まり、穏やかな生活が戻ることを期待するばかりですが、現実はそのように甘くはないでしょう。それでも人間同士の争いごとですから話し合いで解決するしかないと願うばかりです。

今から400年前、徳川家康が戦争のない世の中の創生を目指し、最後の戦いとして大阪夏、冬の陣を戦ったとは昨年大河ドラマのまとめでした。歴史の解釈は人それぞれで正否の解釈も様々ですが、その後、徳川の時代が300年ほど続き、その願いは届いたと思うことはできるでしょう。ただし、その最後は国内でのいざこざが再燃し、明治維新という大事業も元を糺せば人の心に住み着く恨み、妬みの鬱積が爆発したものかもしれません。国内の政変は会津戦争、東北戦争、函館五稜郭の戦争、明治期に入ってから各地の士族による反乱、そして西南戦争でようやく終止し、近代国家としての日本国が誕生しました。しかし、それで戦争のない日本国が誕生したわけではなく、昭和20年8月15日の敗戦によって他力本願的に平和な生活を捨て、その後80年になんなんとする年を迎えていることを思うと、平和な生活の大切さを個人として大事にするばかりでなく、世界の人たちに積極的に伝える義務があると思いつつ新年を迎えました。

では何をするのか、まずは身近な地域の生活と環境の保全に心がけることではないでしょうか。リオデジャネイロでの世界平和会議における平和宣言「Think globally Act locally」を思い出し、実践すること、そしてできれば他の地域との連携を広げていくことが大事ではないかと思っています。

その具体的な取り組みの一つとして井上祥一郎会員が提案し、自ら体を動かして事前活動を行って来ている、霞ヶ浦で開かれた世界湖沼会議での湖を有する5県知事による「5県連携宣言」の具現化計画の推進を具体化し、実現に向けての一步を踏み出すことが上げられます。

皆様のご提言とご協力をお願いします。

令和6年(2024年)元旦



諏訪湖にやってきたコハクチョウたちのあいさつ

諏訪湖周辺で進められている事業の紹介です

1. 諏訪湖スマートインター工事（施工；諏訪建設事務所、諏訪市、岡谷市、中日本高速道路株）

岡谷市と諏訪市にまたがる中央道諏訪湖サービスエリア（SA）への諏訪湖スマートインターチェンジ（IC）整備事業で、事業主体は両市、中日本高速道路、県の4者。2021年に着工し、ICへのアクセス道路（新設県道）を県、諏訪湖SAへの接続部分を中日本高速道路、アプローチ道路の上り線側を諏訪市、下り線側を岡谷市が建設している。

両市と中日本高速道路（NEXCO中日本）、県は、当初2024年3月の供用開始を目指していた同スマートICの開通予定時期を変更すると発表した。諏訪市と県の施工箇所想定外のもろい地質が確認され、追加の対策工事が必要になったため。開通予定は25年夏ごろとしている。発表によると、諏訪市が施工するアプローチ道路のボックスカルバート（コンクリート製の管路）設置箇所に脆弱な地質が確認され、追加対策工事が必要になった。また、県が施工するアクセス道路の一部の表土を掘削したところ想定外の湧水があり、当初予定していた掘削置換ができないことが判明。追加の地質調査や、高規格土のうの設置などの軟弱地盤対策の再検討が必要になった。岡谷市と中日本高速道路の施工箇所は当初の予定通り23年度末の完成を見込む。



諏訪湖スマートインター完成予想図

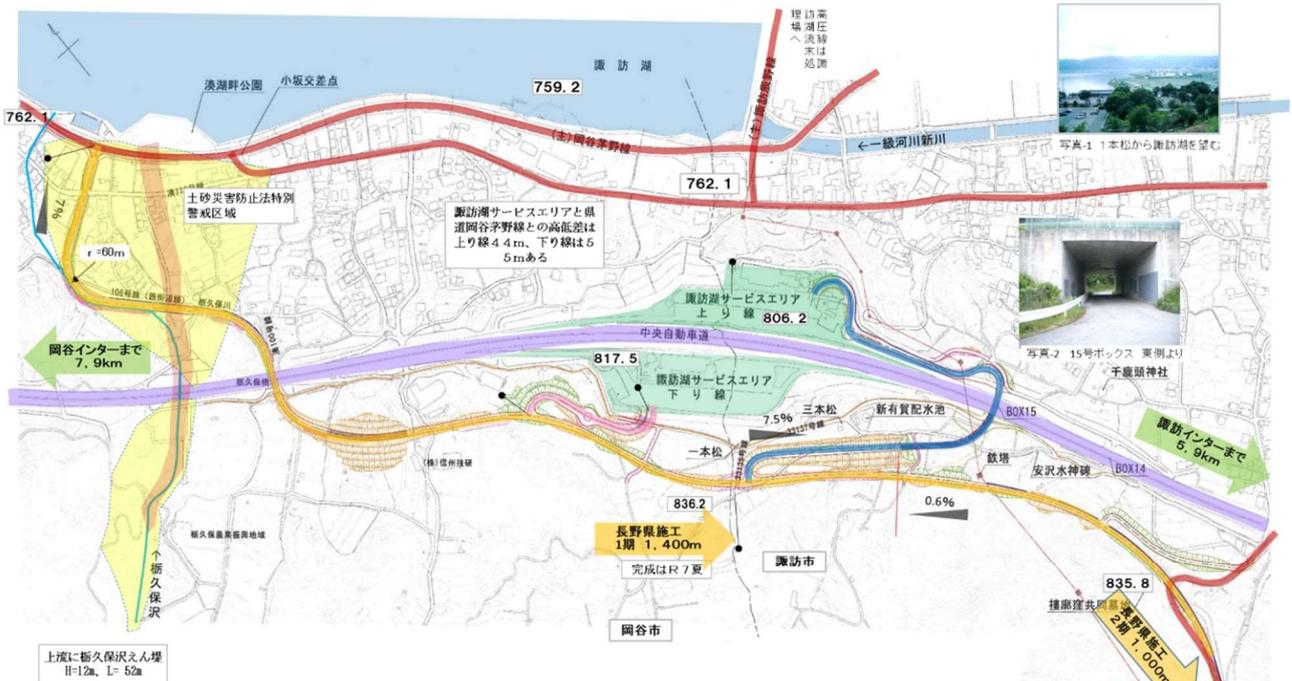


写真-1 1本松から諏訪湖を望む



写真-2 15号ボックス 東側より 千歳神社

区分	工区	工事概要	令和5年度	備考
長野県	諏訪辰野線 1期工区 L=1,400m	幅員W= (6.0m) 8.0m 平山トンネルL=120m 最急こう配 7% 最小半径 R=60m	・交差点改良工事 ・舗装工、排水工、大型 標識工、照明工	完成令和6年3月→ 令和7年夏
	諏訪辰野線 2期工区 L=1,000m	有賀峠に通じる道路	・道路詳細設計	辰野方面の人が利用
諏訪市	上りランプ L= 890 m	幅員W= (6.5m) 7.5m 最急こう配 7.5% 最小半径 R=25m	・道路築造工L=890m	
岡谷市	下りランプ L=240m	幅員W= (6.5m) 7.5m 最急こう配 2.0% 最小半径 R=30m	・道路築造工L=240m	



工事が進む上りランプ（諏訪市施工）

○工事中の写真



完成した平山トンネル（県施工）

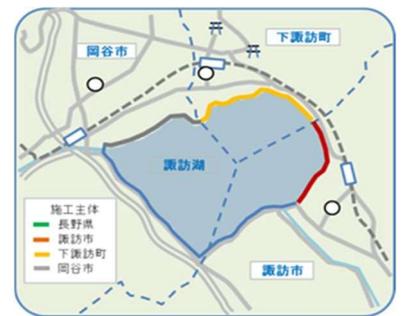


工事が進む県道諏訪辰野線（県施工）

2. 諏訪湖周サイクリングロード（施工；諏訪建設事務所、諏訪市、岡谷市、下諏訪町）

長野県は、施設の整備による景観の改善や満足度の向上などの従来からの客観的指標だけでは計りきれない新しい視点での社会資本の整備が求められています。そのため、地域のビジョンの実現、過大の解決に向けて、地域と連携・協働しながら、戦略的に社会資本整備を進める「地域戦略推進型公共事業の取り組み」を平成28年度から進めることになりました。

- ① 「諏訪湖」を活かした戦略的まちづくり
 - ② 歩こう！走ろう！観光地の歩道グレードアッププラン
- 「諏訪湖」を活かした戦略的まちづくりの中では、
- 1) 諏訪湖の魅力を活用した観光。
 - 2) 諏訪湖周のジョギング、サイクリング、ウォータースポーツ施設を活用した健康増進、
 - 3) 諏訪湖を安全で快適に楽しむことができる環境、
 - 4) 人が集い良好な生態系を有する魅力な諏訪湖を目指しています。



施工区分

湊小学校～石舟渡交差点（県道岡谷茅野線） 自転車道の入る余地が少ない区間



サイクリング道路標準横断面図



ロゴマーク



完成した区間（県施工）



開通を喜ぶ利用者（岡谷市湊）
長野日報掲載記事より

八ヶ岳周辺から始まったジョウビタキの繁殖活動

会員 林 正敏

日本では冬鳥（北方からやって来る渡り鳥）であるジョウビタキが、2010年6月に本州で初めて長野県富士見町で繁殖していることが発見された。その後8年間経年調査の結果、八ヶ岳とその周辺では64件の繁殖が確認され、繁殖が継続・定着していた。繁殖に利用された環境には、いくつかの特徴があり、林地よりも別荘・リゾートが、非定住家屋よりも定住家屋がより多く利用されていた。

営巣場所は、換気扇用フードなど、すべてが人工物であり、巣の地上高は2m前後が多かった。住宅地であっても繁殖場所は林縁部に近かった。これらから、ジョウビタキは林に依存しながらも人の活動と密接な関係を保つ場所で繁殖していると考えられる。



メス親と雛（撮影；富士見高原）

○調査地及び調査方法

調査地は、長野県と山梨県にまたがる八ヶ岳連峰とそれに連なる蓼科高原、霧ヶ峰高原、美ヶ原高原から塩嶺に至る高原地帯で この中で特に繁殖件数が多かった車山山麓の南北約 1.4 km、東西約 2.1 km を繁殖家屋の特徴を調査・分析の対象とした。

日本野鳥の会諏訪支部会員を中心とする地域の人々に発表講演会を行い保護と情報の提供をお願いした。

○繁殖地と繁殖分布

繁殖を確認したメッシュ数は 21 ヲ所 → 図 1

確認した繁殖地は標高 870m ~ 1,760m で繁殖した家屋は定住が 22 件 (92%) 非定住が 2 件 (8%) で営巣箇所は換気扇フードが一番多い。

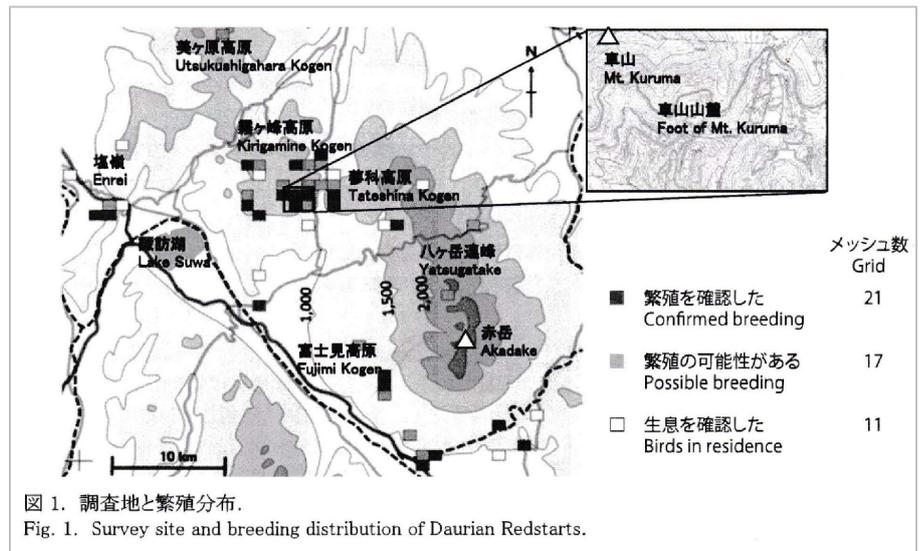


図 1. 調査地と繁殖分布.
Fig. 1. Survey site and breeding distribution of Daurian Redstarts.

調査地と繁殖分布

○ジョウビタキの巣の構造と材料

調査の過程で採集したジョウビタキの 13 の巣について巣の特徴を整理し、本来の繁殖地の情報との比較及び営巣場所による巣材の違いについても考察を試みたので報告する。

巣の材料は多様で、カップ部の主な材料は細い根、苔類、草木の茎とこれに組み込まれた獣毛、草本の葉、羽毛であった。形状を計測した結果、外径は 129 mm ± 16 mm、内径 73 mm ± 8 mm、深さは 31 mm ± 4 mm であった。



採取したジョウビタキの営巣

○八ヶ岳山麓でのジョウビタキ (撮影 林 正敏)



ジョウビタキ一家 (5羽)



親から餌をねだる雛たち



餌を加えたメス親

○ジョウビタキはどんな鳥

全長15cm。オスは頭が銀白色、顔は黒色、腹は赤茶色。メスは体が灰色味のある茶色。翼に白斑があります。

ジョウビタキの繁殖地はチベットから中国の東北部、ロシアの極東部である沿海地方、バイカル湖周辺です。日本には10月末ぐらいにやって来て、平地から低山の農耕地、住宅地、公園、河原などに生息します。ただし、近年、北海道で1例ですが繁殖したほか、本州中部の高原地帯では北に帰らないで繁殖を繰り返すものも出てきています。

名前のジョウは「尉」で銀髪のこと。ヒタキは「火焚」で、火打石をたたく音に似た音を出すことからジョウビタキなのです。翼にある白い斑点をキモノの紋に見たてて、モンツキドリという地方があり、ときどきぴよこんとおじぎをして尾をふるわせる、かわいい冬鳥です。渡って来た当初は、餌場のテリトリー確保のために、高い声でヒーヒーと鳴いて自分の縄張りを宣言します。

やがて、年を越す頃には、それぞれの縄張りも決まり、オス・メスも別々に暮らしています。

主に、木の実や小型の昆虫類などを採餌しています。隠れ場所の藪地に隣接した裸地、芝生広場などで見かけることができます。

人をあまり恐れず住宅地の庭先などで見かける事も多い可愛い鳥です。

○しぐさから、こんな話が…

昔、スズメとモンツキドリは姉妹でした。母親が重い病気になったとき、スズメはお歯グロを塗っていましたが、すぐやめて駆けつけたので死に目に会うことができました。ところがモンツキドリは、化粧をしたりモンツキを着たりと時間をかけたので、死に目に間に合えませんでした。

怒った父親はモンツキドリに「もう、こんりんざいタベモノをやらない」と言いました。だから今でもモンツキドリ(ジョウビタキ)は、よくおじぎをしているのです。いっぽうスズメの口もとが黒いのは、途中で塗るのをやめたお歯グロのあとだというのですが。

・・西瀬戸内地方にある民話です



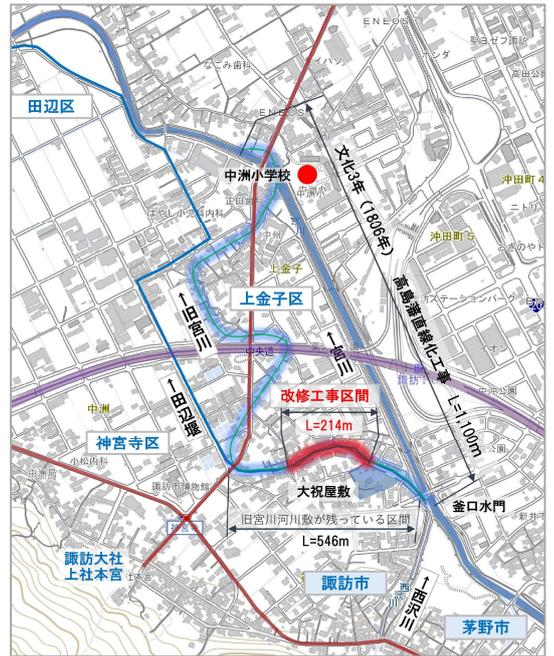
ジョウビタキ(オス) 冬鳥



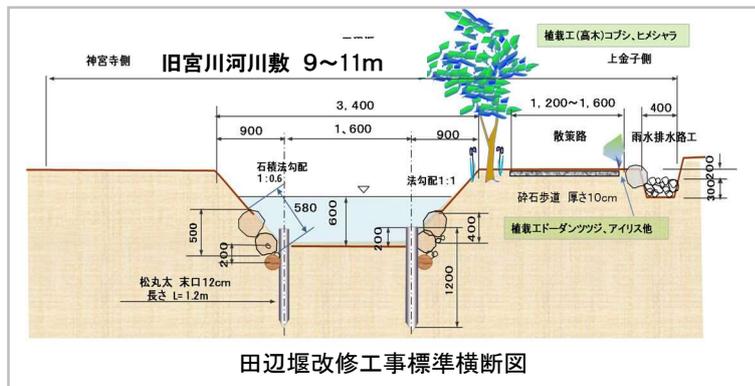
ジョウビタキ(メス)

高島藩の工事により発生した旧宮川河川敷を利用した田辺堰 理事 八幡 義雄

江戸時代の文化3年（1806年）に高島藩は、宮川が蛇行して洪水被害が多発するため、諏訪市中洲小学校より上流約1kmの宮川の直線化工事を実施しました。田辺区、神宮寺区、上金子区に広がる水田をかんがいする田辺堰は、この宮川の直線化工事により取り残された宮川の旧河川敷区間を利用しました。田辺堰の上流部である県道上社線から宮川の取水口である釜口水門までの区間546mは、当時諏訪大社の参道として利用された今橋や、中興の大祝諏方家が居住した大祝邸など歴史的な史跡が多くみられる地域を流れています。この地に、長野県地域発元気づくり支援金や諏訪市資材提供事業を活用して、自然に配慮した田辺堰改修工事L=214mが完了し、その取り組みをまとめた工事誌「田辺堰改修工事の記録」が完成しました。



位置図



田辺堰改修工事標準横断面図



田辺堰改修区間（大祝屋敷付近）

贈呈式

日時 令和5年10月12日（木） 10時30分より

場所 諏訪地域振興局長室

参加 諏訪地域振興局長
田辺堰改修委員会

内容 冊子「田辺堰改修工事の記録」

- ・A4サイズカラー 92ページ
- ・旧宮川河川敷を利用した田辺堰
- ・田辺堰改修委員会の経緯
- ・諏訪市資材提供事業
- ・地域発元気づくり支援金事業
- ・田辺堰を利用した水辺学習会開催
- ・繁茂する水草対策
- ・小冊子「宮川の河川の役割」
- ・小冊子「田辺堰を利用した暮らし」

作成 150部

配布先 諏訪地域振興局、諏訪市、諏訪郡市図書館、
長野県県立図書館他



長野日報掲載記事

これからの家庭で取り入れて頂きたいエネルギー

理事 長崎 功

現在の社会で話題となっている CO2 の削減や SDG s の重要性が叫ばれていますが、皆様方はどの様に取り組んでいらっしゃるのでしょうか？

ちょっと昔、聞いたことありませんか？

ツバルの島が温暖化で、海面上昇で沈んでしまうなんてこと。

温暖化で、北極熊が減少している、何てこと聞いたことありませんか？

「一部の島々では水位の上昇が観測されています。これは、気候変動による海面上昇が要因と考えられています。しかし、全体的な水位上昇の傾向があると言う一般的な結論はありません」と言う事です。

シロクマに対しても、全く騒がなくなりましたね。ある記事で見たのですが、実際の生態数は増えていると言う記事も見たことがあります。

何が本当なのかわかりませんね。私共の生活の中で感じる取る事が、大事だと今日この頃つくづく思います。

夏場では、太陽の光が、刺さすようにイタツカたりすることが増したように感じます。年を取ったせいでしょうか？

今年の夏は、蝉の声が少なかったと思います。カマキリも見かけなかったですね。

他の動物、他の植物は、人間が壊す環境の中で住んでいます。そしてまた、終わらない人間同士の戦争、戦争をして焼け野原にして、そこからげ出す人、移民問題が各国で問題に取り上げられてきている。こんな事の繰り返しですね！！

もっと、小さな火を囲んで、祈りを捧げ、仲間、家族ともに「火で暖まる」生活をしたいですね。そこには、「笑・微笑み」が、自然に出ますね。

おおきな火は、人を遠ざける
ちいさな火は、そこに人が集う
笑 暖

ペレットストーブ、薪ストーブの火の揺らぎはいいものですね。設置されたお客様は、火の揺らぎを楽しみながらストーブの近くでお茶を味わい、ゆったりとした時間を過ごしています。そんな生活を楽しむ時間を、多くの人に、木質バイオマスを使って、楽しんで頂きたいですね。

間伐材

暖房に利用する、ペレット燃料、薪は木質バイオマス燃料です。

間伐材を、もっと利用して、ペレット燃料を作り、使用すれば山林の手入れにもつながりますね。

次のお勧めは、太陽熱温水器です。

真空管式パイプで温められた水は、夏場では80度以上まで上がり、冬場でも40度位まで上がりますのでガスや電気、灯油をかなり節約できます。夏場だと給湯の燃料費はほんのわずかです。ボイラー

の間にミキシング弁を40度にセットすると、40度以上のお湯が通る時には水で温度を下げてボイラーを素通りさせます。38度の時は、2度上げるためにボイラーを作動させる仕組みです。

硝子の真空管でのエネルギーの変換効率は40%から60%にまで上がります。太陽光発電の変換効率20%と比べると雲泥の差です。冬場の配管凍結防止ヒータの電気料金のみで、ランニングコストを大幅に削減します、水道直結型の機種がお勧めです。

太陽光発電に対しては、いまだに再処理技術が確立していないので、注意しなければならない事項です。真空管式二重管式太陽熱温水器では、処理できる素材である為、環境面では安心してご使用できます。

太陽熱で温められたお湯はまるやかです。化石燃料を追い焚きの様に使うだけなので、エネルギーを削減する最高の機材です。一般家庭で給湯に変わるエネルギー使用料は、全体の約1/3です。大きいですね。

エネルギーを蓄える製品

リチウム電池 半固体電池 全固体電池 など一回の充電で1,200 kmから1,600 kmまで走れる電気自動車用電池が開発されています。お弁当箱の大きさがあつた電話機が手のひらサイズになった現代ですが、さらに小型化し、蓄電量も多くなり、OFFグリットの生活が出来るようになるのも、そう遠くないかもしれません。



太陽熱温水器の設置



ストーブの取り扱いを説明中



ストーブには自然と子どもたちが寄って来る



半世紀ぶりの諏訪の印象

会員 伴野 豊

この秋（2023年9月）に諏訪湖クラブに入会させていただいた 伴野 豊（ぼんのゆたか）です。どうぞ宜しくお願いします。今年3月まで九州大学でカイコの研究と教育を長年行ってきましたが定年退職し、中学、高校時代（1970年～75年）を過ごした岡谷市に半世紀ぶりに戻ってきました。妻は九州出身なのですが定年後は信州ということに賛成してくれ、終の住処を岡谷駅近くに構えました。動物、野鳥好きな妻は10分足らずで、諏訪湖でバードウォッチングが楽しめること、今日は八ヶ岳、富士が望めたよと弾む声で話しかけてくれるなど、新しい地の自然に気に入っています。私も釜口水門、昔は無かったやまびこ公園からの美しい景色や四季の移ろいに満喫しています。晩秋になり、青い空、湖面、紅葉はまた格別です。

ところで、諏訪湖クラブの活動については本会理事の高木保夫さんから以前よりお聞きしておりました。2022年の諏訪湖の日（10月1日）のフォーラムの様子をオンラインで福岡にて拝見しました。小学生がウンチ君の流れを通じて、生態系を考える内容でしたが、八ヶ岳から、林地、農地、市街地と水の流れを通じて諏訪湖まで続いていることを改めて知った思いでした。私は1970年に北安曇の大町から父の仕事の関係で小学校卒業と同時に岡谷に転校してきました。北安曇には箱庭的な仁科三湖がありましたが諏訪湖は長野県で一番大きな湖として知られていたもので、湖を見ることを楽しみに来たことを覚えています。しかし、目にした諏訪湖は緑色のバスクリーンのような色をしていて、悪臭もし、おびただしい数のユスリカが発生していることに驚きました。バスクリーンの色の正体はアオコ、悪臭は諏訪湖に溜まったヘドロと教えてもらったように思います。それからすると50年ぶりの諏訪湖は随分きれいになったなという印象を持ちました。ただ、昔にはなかったヒシの繁茂を目にしました。私の高校時代、友人が生物部に所属し、諏訪湖の植物を調査しており、ヒシが六斗沖や豊田の方には多いことを知っていましたが、竹屋味噌の工場辺から下諏訪の方にはあまり分布していなかったように覚えています。50年前にはなかった下水道が諏訪地域に整備されると共に諏訪湖浄化の啓蒙活動もあって、アオコの発生は抑えられるようになった。そのアオコに代わってヒシが優占種となったことを本会の会報や、新聞報道から知りました。生態系の動きは複雑であることを改めて感じている所です。

先日、知人への諏訪の手土産と思い、昔からあったワカサギの甘露煮と諏訪湖豆を買い求めました。包装は昔のままでしたが、裏の商品説明には、ワカサギは県外産、諏訪湖豆の大豆はカナダ産とありました。50年前には釜口水門近くの湊の沖きだったと記憶していますが、諏訪湖の氷を割っての穴釣りを楽しんだ思い出があります（高木保夫さんご指南のもと）。入れ食い状態でワカサギが面白いように釣れました。あまりにも釣れるのでバカサギだと茶化す人もいるくらいでした。あの時にはあんなにいたワカサギ、しかもサイズははるかに大きかったように思います。諏訪の地域に戻って半年、残念に思うことも多々あるのですが、頭の中に残る諏訪の記憶を辿りつつ、現在の諏訪の姿を楽しんでいます。まだ、訪れていない場所、知りたい事がたくさんあります。皆様方から、お勧めの場所やイベントごとにお誘い頂けたら幸いです。そんな生活、暮らしの中から、少しでも終の住処とした地へ、恩返しができるまでできたらと願っています。

プロフィール

私は、本会理事の高木保夫さんとは高校時代（諏訪清陵高）の同期生で、生物部でも一緒でした。高木さんは諏訪湖に流入する河川に生息するグッピー（上諏訪温泉の影響で冬季でも水温が高く生息）の

分布や生態を、私は八ヶ岳に生息する高山蝶の一種であるミヤマシロチョウの分布や生態調査をしていました。ミヤマシロチョウは標高 1500～2000m 付近の灌木のメギヤヒロハノヘビノボラズに共同の巣を作り、一冬越して翌年初夏に羽化し、アザミや、ヤナギランなどに訪花します。モンシロチョウより少し大きめで、黄色の小さな斑点を持つ美しいチョウです。生息地は八ヶ岳、南アルプス、浅間山塊等長野県を中心とした中部山岳に限られ、マニアの間では人気が高く、乱獲者も多く、蝶の保護活動が茅野市から託されてもいました。日本では茅野市郊外の明治温泉付近で諏訪市出身の茅野光茂博士により初めて発見されました。海外では極東ロシア、アムール川流域を中心に広く生息します。氷河期には日本列島の各地に生息したものの気温上昇で生息地が高山のみとなった氷河期の生き残り生物と考えられています。調査を行っていた 1970 年代半ばは、日本列島改造論の嵐で、道路建設、ゴルフ場建設、別荘地開発が進行、諏訪地域でもビーナスラインの美ヶ原への延伸、諏訪湖の汚染などで自然破壊が進み、その保護も問題となっていた時代でした。部の顧問の先生（三石暉弥先生）と生物部（OB も参加）の調査の結果、八ヶ岳、諏訪側に 3 箇所、山梨側に 1 箇所、佐久側に 3 箇所、その他浅間山塊、南アルプスの生息地が確認されました。蝶は飛翔し、寿命も 10 日ほどと長いので生息数を特定することは難しいのですが、多い箇所でも数百程度の小規模であると推定されました。茅野市には「ミヤマシロチョウの会」が結成され保護活動が有志により始められました。諏訪に戻ったらミヤマシロチョウの保護活動にも加わりたいと思っていました。しかし、八ヶ岳地域の分布は減少が続き、2 年ほど前までには確認が困難となってしまい、八ヶ岳地域の生息の終焉とする見方が大半のようです（茅野市ミヤマシロチョウの会ほか新聞報道による）。

ただ、野外に住む生物の生息数ゼロを確定することは難しいとされます。私たちが気付いていない奥深い場所で命を繋いでいることを切に願い、再会できることを期待しているところです。本チョウの生息数の減少については種々の要因が考えられていますがこのことについてはまた別の機会にご紹介できればと思います。



マツムシソウに訪花したミヤマシロチョウ



天然記念物としての保護の呼びかけ

駒ヶ根シルクミュージアムの紹介

退職後は、大学時代には整理できなかった研究資料の纏めや、ゆっくりと本でも読みたいと思っていたところ、前館長の急逝を受け、駒ヶ根市にある駒ヶ根シルクミュージアムに勤めることになりました。駒ヶ根には組合製糸「龍水社」を核として養蚕、製糸業が盛んでした。1997 年まで操業を続けた龍水社の歴史、カイコ、シルクに関する展示を行う施設として 2002 年に本館は開館しました。中央アルプスが見える高台にあり、地域でも人気のレストラン（昼食のランチバイキングが好評）がありますので、伊那谷方面へのドライブをかねてのご来館は如何でしょうか。繭を使ったクラフト作成、織りや染色の体験もできますので、ご家族、グループでもご利用ください。



中央アルプス、枝垂れ桜と本館入口

“会員の近況コーナーです”

会員の小松 郁俊さんが旭日双光章きよくじつそうこうしょうを受章されました

令和5年秋の叙勲にて、諏訪湖クラブの会員である小松内科クリニック院長小松 郁俊さん 76歳（長野県諏訪市中洲神宮寺 245-18）が旭日双光章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。

ごあいさつ（小松内科クリニックのホームページより）

生まれ育った諏訪で開業し30年以上が経ちました。

主に内科全般（専門は消化器）、小児科を診療しています。

支えあう医療を目指して

人生はアツという間ですね。地域の人々とともに生き、支えあう医療をめざしています。

多くの皆様に支えられて医療を続けていくことができましたことに感謝しています。本院では「医療の情報開示」に先進的に取り組んできました。患者さんの健康情報が一目で分かる「私の健康ノート」や検査データやお薬の内容もお渡ししています。患者さんにも治療の内容と目的を知っていただき、医師と一緒に治療を決めています。

在宅医療や終末期医療にも取り組んできました。多くの患者さんを、自宅で、介護施設で診ています。診療では、循環器科の専門医小松美穂医師が、土曜日に二回、循環器科を担当しています。

長男の小松信俊医師は、いちよう並木クリニックを開院して、消化器全般の治療・検査を行い、次男の小松雅俊医師は、小松整形外科を開院して整形外科領域の治療・検査を行っています。私を含めて4名の医師が協力して治療してまいります。

受付窓口の職員や看護師も新しいメンバーが加わり、受診された皆様に、御不快な対応が無いように接遇の研修も取り入れています。改善したほうが良いと思われることがありましたら、目安箱にご意見をお寄せください。

これからも、地域の人達が、最後までこの地域で暮らしていくことができますように、地域の方々とともに地域医療に取り組んでまいります。職員ともどもよろしくお願い致します。 院長 小松郁俊



神宮寺公民館前に垂れ幕が掲載されました



旭日章

【参考・勲章の種類】

勲章には、大勲位菊花章、桐花大綬章、旭日章、瑞宝章、文化勲章などがあります。大勲位菊花章や桐花大綬章は、内閣総理大臣や衆議院・参議院の議長、最高裁判所長官の三権の長を務めた方などに授与されています。

旭日章は、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方に、瑞宝章は、公務などに長年にわたり従事し、成績を挙げた方に、授与される勲章です。

文化勲章は、科学や文化の発達に関し特に顕著な功績のある方が対象です。

旭日章は、国旗「日の丸」を象徴する日章を中心に光線を配した旭光のデザインで、“旭日昇天”の意気を示すものといわれています。

理事会報告

第 159 回 日時：令和 5 年（2023）10 月 15 日（日）午前 10 時 00 分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野 金子 長崎(政) 井上 八幡 宮坂 田代 鴨志田 山村 田辺（10 人）

内容：

- 1) 「諏訪湖の日」フォーラム（令和 5 年度）の報告
また、参加の予約数が伸び悩みであったが、150 名くらいに増え、参加された人も楽しまれたようだ。
- 2) 「オオワシグル」紙芝居の完成、配布、試演等の報告
9 月 12 日（火）紙芝居「オオワシと鳥きち爺さん」下諏訪町長に贈呈式
沖野、八幡、高木、林正敏、絵手紙「福の会」会員 3 人
9 月 30 日（土）午前 11 時～ 下諏訪町立図書館で読み聞かせ会 参加者数 20 名
10 月 14 日（土）午前 11 時～ 諏訪図書館 物語・絵本コーナー出読み聞かせ会
参加者数 18 名くらい
- 3) 地域発元気づくり支援金 進捗の報告
- 4) 諏訪湖創生ビジョン（諏訪湖案内人 WG の経過報告）
- 5) 令和 5 年度忘年会について
日時；令和 5 年 12 月 17 日（日）午後 5 時 30 分より
場所；居酒屋「ごんべえ」会費；5,000 円（飲まない方 4,000 円）
- 6) 自治体連携について（井上監事報告）
松江では、5 湖の自治体連携に関して元漁協組合長と民間の研究者お二人へのヒヤリング。島根大学の汽水湖シンポジウムが 10 月 14 日にあり、大学関係者とは久方振りの顔見世をして参りました。
- 7) 諏訪湖クラブニュース 37 号と 38 号について
- 8) 諏訪湖環境研究センター（仮称）令和 6 年 4 月開所予定初代センター長 高村典子
高村典子氏 京都市生まれ、国立環境研究所 生物多様性領域 客員研究員

第 160 回 日時：令和 5 年（2023）11 月 19 日（日）午前 10 時 00 分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野 長崎(政) 金子 高木 八幡 宮坂 田代 市川 山村（9 人）

内容：

- 1) 第 9 回「川ゴミサミット in 諏訪湖」参加 100 人 季節外れの雪
湖浄連 小口智徳（岡谷市環境課）
マイクロプラスチック（人工芝など）は魚が消化できなくなり餌をとれないため
栄養失調に
- 2) 地域発元気づくり支援金 令和 5 年度の進捗の報告
令和 6 年度（最終年度）冊子の作成
諏訪湖のさかな、鳥、諏訪湖誕生、曾根遺跡を予定 令和 5 年と同規模
プランクトンも入れたい
- 3) 諏訪湖創生ビジョン（事務局の体制）
諏訪湖案内人 WG の経過報告
次回 12 月 17 日（日）忘年会 5 時 30 分～ごんべえ
令和 6 年 1 月 21 日（日） 諏訪湖ニュース 38 号発行
冊子「諏訪湖の水生植物」「治水に繋がる釜口水門」も配布

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局

TEL/FAX 0266-58-0490

E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

<https://suwako-club.com/about.html>

諏訪湖クラブニュース

No.38 令和 6 年（2024 年）1 月